川崎大師ロータリークラブ週報

第 41 期
会　長　鈴木昇二
副会長　牛山裕子
幹　事　清水宏明
ＳＡＡ　秦　琢二

例会場：大本山川崎大師平間寺信徒会館
例会日：毎週水曜日　PM12：30

事務局：〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F
Tel.044-277-7569　Fax.044-288-8550
URL http://kawasakidaishi-rc.com/　E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 1973 回（本年度　第 14 回）　例会　平成 25 年 10 月 9 日　曇

●司会　秦　琢二　ＳＡＡ
●点鐘　牛山　裕子　副会長
●斉唱　四つのテスト
♪ソングリーダー　須山　文夫　会員

ゲスト紹介　牛山　裕子　副会長

米山奨学生　白　玉香さん
青少年交換学生　メアリー・アン・ワードさん

来訪ロータリアンの紹介　岩井　茂次　委員

本日、来訪ロータリアンはございません。

会長報告　牛山　裕子　副会長

1. 新川崎 RC より、2013～2014 年度理事役員交代のお知らせ。
会長エレクト・理事　鳥越憲（とりごえ　けん）
→　会長エレクト・理事　比嘉　たかし（ひが　たかし）
（2014～2015 年度会長）

幹事報告　清水　宏明　幹事

1、川崎マリーン RC より 20 周年の記念誌が送られてきています。
2、19 日の地区大会移動例会は当日、受付付近におりますので声をかけて例会場所を確認して下さい。
3、R 青少年交換学生のホストファミリー及び短期受け入れのお願い
4、他クラブの例会変更のお知らせを回覧します。
5、前号の週報の「スケジュール予定」に訂正があります。
職場訪問・移動例会 ~~11 月 20 日~~→　11 月 13 日

出席報告　須山　文夫　出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1973 回	55	44	25	19	56.82 %
1971 回	55	44	27	17	61.36 %
前々回の修正・ﾒｰｸｱｯﾌﾟ			6	修正出席率	75.00 %

メークアップ
長島　亨・林　鶴・嶋崎　嘉夫・水口　衛
中村　孝・宮沢　和徳　各会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）　前田　良賢　会員

GSE 派遣メンバー団長　横浜鶴峰ロータリークラブ
北瀬　達也　様
本日はお世話になります。

船山　昭三　会員

長らく休んで申し訳ありません。もうしばらく出席免除をお願いいたします。

島岡　榮基　会員

北瀬さん、御苦労様です。野邊さんアフリカの話を今日は楽しみにしています。

鈴木　幹久　会員

北瀬様はじめ GSE の皆様、本日は卓話ありがとうございます。

宮山　光男　会員

９月２８日～１０月５日まで第２７回世界宗教者平和の祈りの集いで、イタリアのローマ、ミラノローマ教皇謁見、世界遺産のチンクエ・テッレ観光に行ってまいりました。

中村　眞治　様

① 北瀬さんはじめ GSE の派遣メンバーの皆様ようこそいらっしゃいました。

② 野球同好会へのご芳志を有難うございます。合計６３，０００円となりました。

竹中　裕彦　会員

草野球へのドミネーション多額にありがとうございました。

矢野　清久　会員

大変申し訳ございません。早退させていただきます。

清水　宏明　会員

北瀬様、卓話よろしくお願い致します。

牛山　裕子　会員

ＧＳＥ　チームリーダー北瀬様、メンバーの宮澤様、滋野様、野邊様ようこそお出で下さいました。本日は、会長始め１０数名がゴルフ大会参加のため、ゴルフ場で make - up しておりますため、卓話を伺う会員が少なくて申し訳ありません。最後の GSE 派遣メンバーとしての貴重なお話に期待致します。

鈴木　昇二　会員

第１グループ　親善ゴルフ大会に参加の為、例会に参加できませんが、ＧＳＥの皆様宜しくお願い致します。又、牛山副会長、宜しくお願い致します。

本日のニコニコのテーマ

「北瀬様、卓話よろしくお願い致します。」

増田　昌美　会員・岩井　茂次　会員・嶋崎　嘉夫　会員
出井　宏樹　会員・前田　良賢　会員・竹内　祥晴　会員
秦　　琢二　会員・石渡　勝朗　会員・伊藤　佳子　会員
各会員

委員会報告

職業情報委員会　　島岡　榮基委員長

１１月１３日は職場訪問で「ユースキン株式会社」本社・横浜工場です。

懇親会は中華街の「菜香新館」で行います。多くの皆様の参加をお願い致します。

卓話者の紹介

プログラム委員会　　鈴木　幹久　委員長

第 2590 地区 GSE チームリーダー　横浜鶴峰 RC 直前会長　北瀬　達也様

〃 メンバー　図書館司書　宮澤　恵利香様

〃 メンバー　ｱｽﾘｰﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ　滋野　直子様

〃 メンバー　ユースキン製薬㈱　野邊　誠様

卓話

GSE 南アフリカ派遣チーム活動報告

第 2590 地区 GSE 派遣メンバー団長

横浜鶴峰 RC　　北瀬　達也　様

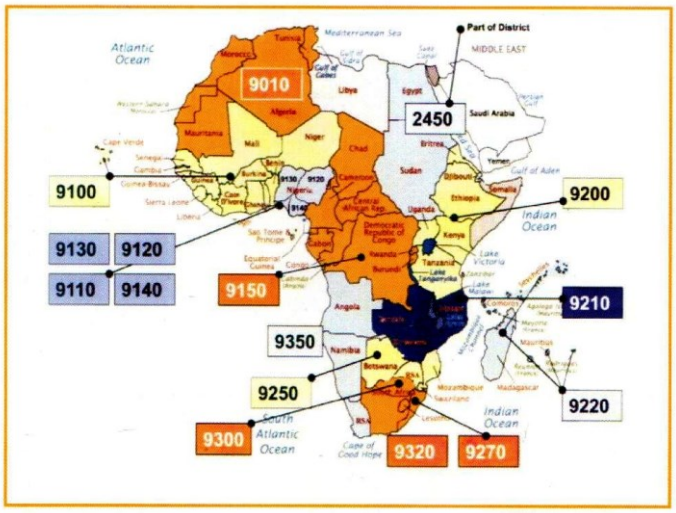
川崎大師 RC におかれましては、昨年度地区 GSE 委員会でご指導を頂きました中村眞二様、南アフリカチームのホストファミリーをしていただいた増田昌美様、牛山裕子様をはじめ、多くの皆様に大変ご協力を頂き、また、本日は、こうして帰国報告の機会を頂きましてありがとうございます。

はじめに GSE について簡単なご説明をさせて頂きます。

GSE とは Group Study Exchange の略でして、異なる国の二つのロータリー地区が組み合わされて、職業に関する研究グループを交換するというものです。また、二つのロータリー地区の親善という役割も担っています。

2012-13 年度は、私たち 4 名で、4/20 から約 1 か月間、アフリカのロータリー地区を訪問してまいりました。

派遣先となりました第 9350 地区ですが、アフリカ大陸の南西、アンゴラ、ナミビアと南アフリカの 3 か国に跨る地区です。（---で囲った範囲）



世界には 532 のロータリー地区がありますが、アフリカはこのように 14 の地区に分けられています。

私たちの活動拠点となったのは、アフリカ大陸のほぼ南端に位置するケープタウンという都市で、テーブルマウンテンと喜望峰が有名です。

そのような歴史から、南アフリカは人口の９％が白人です。

ロータリアンに関しては、ほとんどが白人で、正確な数字は分かりませんが、たぶん 90%以上だと思います。

ここはキャンプス・ベイという高級住宅街にある、最初のホストファミリーのお宅です。ロータリアンの多くは、お宅に広い庭とプールがありまして、数名のお手伝いさんがいます。お手伝いさんは黒人で、一日の給料は 2,000 円程度だそうです。

最初に日本との違いを感じたのが、この人種間の格差ということです。

南アフリカは、約 20 年前までアパルトヘイトという、人種差別政策を行っていた国で、現在、制度面では差別はありませんが、多くの黒人は貧困が原因で十分な教育を受けられず、結果として低所得の仕事にしか就けていません。

ロータリーのプロジェクトをご紹介させて頂きます。

この公園では、子供たちのためにミニチュアのブルートレインを走らせていて、その運営をロータリークラブが行っています。日本の奉仕プロジェクトとはだいぶ内容が異なるものです。

ここでは、黒人のスタッフが働いていますが、南アフリカの失業率は 25%にもなるそうで、彼らを雇用することもこのプロジェクトの目的の一つだそうです。

このプロジェクトは、1,000 万リットルの安全な水を地域に供給するというものです。

提唱者は、私のホストファミリーの方ですが、彼は内科のお医者さんで、自分の職業上のスキルをこのプロジェクトの為に役立てています。

アパルトヘイトの時代には、居住区も人種ごとに定められたそうで、これは白人の身の安全を守る為だけでなく、黒人に白人の裕福な生活を見せない為でもあったそうです。

ケープタウンの町並みに象徴されますが、日本人とは比較にならないくらいの裕福な白人がいる一方で、その何倍もの黒人の貧困層が存在します。

ここはそのタウンシップにある幼稚園です。

ロータリーは政府に代わり、彼らのコミュニティーに対してたくさんの奉仕プロジェクトを実施していて、とくに貧しい子供達が教育を受けられるための支援に力を入れています。

また、これらのプロジェクトはアメリカやヨーロッパのロータリークラブの協力によるものが多いです。

その一つに、当地区の十数クラブが協力している「南ア

フリカ学習者支援プロジェクト」があります。

今回、支援をしている 120 名の子供たちに会ってきました。彼らは、片親であったり、親が失業をしている家庭の子供達です。支援には給食代が含まれていますが、その給食が１日１回の食事であるという子供達がいるということを聞きまして、そのような背景を持つ彼らの笑顔がとても印象的でした。私からの報告は以上です。

第 2590 地区 GSE 派遣メンバー　　宮澤　恵利香　様

横浜東ローターアクトクラブの宮澤恵利香と申します。

GSE の主目的である職業研修についてご報告いたします。

現在、私は大学図書館で働いていますが、南アフリカでは大学・高校・公共、そしてタウンシップ内と様々な図書館を訪れました。 ケープタウン大学とジョージにあるネルソン・マンデラ・メトロポリタン大学の図書館へ行きました。

日本の大学図書館との大きな違いは、図書館におけるネット環境の充実ぶりでした。あまり本はおいておらず、主に使用するのは電子書籍だと聞きました。

日本でも図書館でのネット利用はだいぶ進んできましたが、南アフリカは全ての学生が自由にネットを使えることに驚きました。

大学、公共図書館を訪問して、日本と殆ど遜色ない、あるいは進んでいる設備を見た後に、タウンシップ内の図書館を訪問した時は、衝撃を受けました。

またナイズナのロータリープロジェクトの一つで、コンテナ図書館です。こんなに小さく、本もそれほど多くない場所なのに、多いときは１日約 100 人ほど訪れるのだそうです。

それも、毎日違う顔ぶれなのだと・・・

同行していただいたナイズナのロータリアンが呟いた、彼等はハングリーなのねという一言が忘れられません。

活字中毒とはよく言いますが、本に対して飢えているという表現が新鮮で、けれども哀しく響きました。

タウンシップでは１キロメートル四方に、公式では八千人の人が住んでいることになっているけれど、実際は４万４千人の人が暮らしているそうです。そしてその８０％は仕事がない。教育を受けられなかったから仕事がなく、教育を受けられなかったから子育ての知識が乏しくて、子どもが泣いていても抱き締めてやることすら知らない母親が多いのだそうです。

日本で生まれ育ち、当たり前のように甘受していた教育が、いかに重要かを改めて考えさせられました。

南アフリカでは、訪れた町でそこのＲＣの例会にも出席いたしました。

南アフリカではヨットクラブやゴルフ場を例会場としているところが多くみられました。まだ日本のＲＣの例会に出席したことが少なかったので、違いはそれほど見つけられませんでしたが、一番面白いと感じたのが日本でいうニコニコＢＯＸに近いものです。木製の箱を持って会員が徴収して回るのですが、私のホストファミリーが隣に座っていると、ゲストと一緒に座っているなんて…だからお金を入れなさい、とか、遅刻したから…といった感じで、見ている側はとても面白く感じました。

一か月の滞在の最後には南アフリカの地区大会にも参加しました。

会場が遊園地で、また六十年代の仮装をする 60’ｓパーティーや、フォーマルな晩餐会など、日本では得られない体験をしました。また、東日本大震災の時に南アフリカのロータリアンが日本に贈ってくれたレスキューボックス（セーフティーボックス）を見ることができ、遠い国だと思っていた南アフリカが、実は自分の知らないところで日本に援助をしてくれていた事実も知りました。

ＧＳＥプログラムに参加し、公私にわたって貴重な経験を得ることができたのは、全てロータリーの皆さまのおかげです。ありがとうございました。

第 2590 地区 GSE 派遣メンバー　　滋野　直子　様

私たちはケープタウンを皮切りに様々な地域でその土地々々の魅力を知り、多くの方と触れ合い充実した時間となりました。

私は現在、スポーツマネジメントの仕事をしており、今回の職業研修ではスポーツに関わる団体や施設、特に南アフリカでは盛んなスポーツ・ラグビーに特化して色々な方からお話を伺いました。それではその報告をさせていただきます。

職業研修で一番印象に残ったところはプロラグビーチームのアカデミー施設見学です。

私は今、南アフリカでプレーしている日本人ラグビー選手のマネジメントをしていますが、同様の施設で日々トレーニングをしているんだと重ね合わせながら、施設の見学をしました。

日本では考えられないような施設の充実ぶりで、国内で一番人気のスポーツであるラグビーは特に育成システムが整っており、国内で８歳からスカウティングが始まるそうです。

ケープタウンにあるスタジアムでおよそ５万人が収容でき、ほとんどの試合が満員になるそうです。

ダイキン、コマツ、トヨタといった日本企業もスポンサーとして参入しており、多くの人の目に触れるため広告価値があるスポーツであることも改めて感じました。

日本企業の話が出たのでここで南アフリカでみた「日本」をご紹介します。

一番多くみかけたのは日本車で、ホストファミリーも所有者が多かったです。

日産の GTR は関税が今４５％程度かかっていますが現地では日本円で３０００万円で販売されているそうです。また最近では中古車約２００万円弱ですが経済的に豊かになってきた黒人、カーストの人たちに人気があるそうです。

スーパーマーケットでは日本食を見かけました。想像以上の寿司人気でした。回転寿司もあり、スーパーには握り寿司、また自宅でお寿司を楽しむ人も多いようで寿司キットやお寿司用のお米、しょうゆが売られていました。豆腐も売られていましたが現地の人に聞いたところ「食べ方が分らない」と言っていました。

日本のロータリークラブが支援している学校で折り紙をこどもたちと一緒に行いました。滞在時間はとても短かったのですが、まだ教育を受けられないことで将来のチャンスを失う負の連鎖から抜け切れない子供たちが大勢いることも肌で感じ、今後この支援で一人でも多くの子供が学校に通えるように支援の継続拡大を強く考えさせられました。

GSE では各地域の例会に参加、プレゼン、バナー交換を行ってきました。どのクラブでも日本から来た私たちを温かく迎えてくれ、また熱心にプレゼンを聞き入ってくれま

した。

どのクラブの例会も出席率が非常に高く、またロータリアンであること、ここでの活動に対し大変誇りを持っていらっしゃいました。

今回、この 33 日間で交換したバナーの数だけロータリーの輪が広がることを GSE を通じて微力ながら尽力できたことをとても嬉しく思っています。

今回このような GSE プログラムの機会を頂けたことを感謝しております。1 か月という短い間でしたが有意義な時間を過ごすことができました。ここで学んだことを今後の仕事に生かしていきたいと思っております。帰国後もホストファミリーと連絡を取り合い、また GSE メンバーとも交流を続けています。何千キロと離れた土地に友だち・家族と呼べる人々ができたことをとても嬉しく思っており、本当にこのプログラムに参加できたことを誇りに思っています。

第 2590 地区 GSE 派遣メンバー　　野邊　誠　様

ユースキン製薬の野邊でございます。

私は職業研修として、病院、地域薬局、ドラッグストア、薬科大学、化粧品工場、化粧品販売店を訪問させていただきました。

まず、病院内の薬局からご紹介させていただきます。南アフリカの病院は、私立病院と公立病院に大別されます。公立病院は誰もが受診可能ですが、私立病院は加入している保険により受診できる人が限られます。今回は公立病院について紹介させていただきます。

世界で初めて心臓移植が行われたグルーテスキュア病院。ケープタウンにあるこの病院の医療水準はかなり高く、定評があります。

日本では薬にかかわるすべての業務を薬剤師が請け負いますが、ここでは薬剤師は主にマネージメントと処方箋のチェック業務を行っています。

この病院はタウンシップに住む人の為に国が用意したディストリクト病院です。この様な病院が国内に多数存在しています。

薬の量も豊富で薬剤師数も充分です。医療水準も高く、電子カルテまで導入されていました。

ここに来る患者さんたちが貧困層の方々であり、現金の持ち合わせがありません。この為、この様な貧困層の方の医療費がすべてタダです。医師の診断、処方、服薬、すべてがタダです。手術までがタダです。南アフリカでの衝撃の一つがこのシステムです。

どこからこのお金が賄われるかというと富裕層からの税金です。この為、富裕層の方たちは収入の 50%近くが税金として引かれています。しかも、貧困層ほど病気が多く、エイズ、結核、感染症、様々な疾病が蔓延しています。この為、病院を訪れる患者数は連日数百名単位とのことです。この様な医療制度が全国各地で行われているのが南アフリカの実情です。

また、南アフリカでは、１１の言語が公用語として使われていますが、病院もたいてい３か国語対応になっています。地域によって異なりますが、ここでは、英語、アフリカーンス語、コーザ語の３か国語で表記されています。

病院の最後にクリニックをご紹介します。エイズ患者を主にみるクリニックです。

多くの患者さんが来ています。しかし、医師の数は一人、薬剤師も一人、週に一回来るだけです。なぜなら、ここは病院ではなくクリニックであり、半官半民の慈善施設のような存在です。実際に薬局はもぬけの殻でした。どのようにしてこのクリニックが成り立っているかというと、ロータリープロジェクトとしてナイズナロータリーがバックアップしているからです。

思いつくのは簡単でも、実際に行動し、維持していくの

は並々ならぬ忍耐と努力が必要です。奉仕という言葉が形として結実した姿の一つだと感じました。

ロータリープロジェクトをもうひとつ。

喜望峰ＲＣのプロジェクト。シネセンバ スペシャル ケア センター。ここでは、身体障害児、心身障害児のケアが行われています。もちろんタウンシップにあります。

彼らは、貧しさに加えて障害を抱えています。親の願いは、元気に成長してもらいたい、それだけではないでしょうか。ただ、タウンシップでは、そんな小さな願いさえかなえるのがむずかしいのが現実です。貧困に悩み、苦しい毎日を送る中にあって、障害児をケアする施設が存在することは、そのこと自体が多くの人の心に温かさと優しさを思い起こさせるものだと感じます。障害を抱えても満面の笑顔を見せてくれた彼らに強く胸を打たれました。

次に地域薬局ですが、これは Link と Clicks という大きなチェーン薬局です。日本でも最近増えてきていますが、ドラッグストアと調剤薬局が合わさった薬局です。都市部ではこのような薬局が増えており、街の中心部やショッピングモールなどに必ず入っています。地方都市では今でもいわゆる薬局が存在していますが、日本同様に大型薬局が次第に拡大していくものと思われます。品ぞろえも豊富で、日本のドラックストアとなんら変わるところはありません。一般的なスキンケア製品も３５０円～１０００円程度と日本の価格体系とほぼ同様です。薬局に来ると南アフリカのイメージが払しょくされるはずです。

最後になりますが、職業研修での体験はもちろんのことですが、最も印象に残ったことはホストファミリーをはじめ多くのロータリアンの方たちの暖かな歓迎です。

言葉の壁や文化・習慣の壁があることを当然覚悟しておりましたが、そんな私たちの気負いも、大きく包み込むような優しさと大歓迎で、お互いにすぐに気持ちを通じ合わせることが出来ました。

実際に毎日毎日が笑顔とウェルカムの連続で、言葉ではなく心の底から通じ合える何かを強く感じることが出来た事が何よりも嬉しく、チームメンバーとして南アフリカに行けた幸せを強く実感致しました。人と人との間に生まれる愛情や友情、深い思いやり、そんな絆こそがロータリーのエネルギーの源であり、喜びの源泉ではないかと感じます。

このような絆がロータリー活動を通じて世界中で末永く、また大きく拡がっていくことを願ってやみません。

今回、この様な貴重な機会を与えてくださいました川崎大師 RC の皆様方には、報告会のこの場を借りまして、改めまして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

今回、多くのロータリアンから話を聞く機会がありましたが、南アフリカではロータリアンの奉仕に対する考え方、ロータリーの存在意義は日本と大きく異なります。

あるクラブは、会員数が 60 名ですが、過去 3 年間で 37 のプロジェクトを実施しています。

また、クラブ運営についてですが、どのクラブも年会費は 2 万円程度で、一番感心したのは、事務局を置かず、すべて会員の手でクラブ運営を行っていることです。

日本のロータリーにも、彼らにはない良いところがありますが、見習うべき点が多々あると感じました。

今後の私のロータリー活動の中で、今回学んだことを活かしていければと思っています。最後に貴クラブの益々の発展を祈念しまして、お礼の言葉とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

スケジュール予定

クラブ行事

10 月 18・19 日　地区大会

11 月 6 日　　3 クラブ合同例会（日航ホテル）

11 月 13 日職場訪問　大師駐車場集合 14：00

移動例会　中華街「菜香新館」18：00

11 月 15・16・17 日　RC 千＆グレン杯

全国野球大会　参加

次回例会　10 月 23 日（水）

例会

会員卓話　出井　宏樹　会員

内田　省治　会員

：クラブ会報委員会：

増田昌美／竹田正和／須山文夫／飯塚元明

竹中裕彦／水口　衛／岩井茂次／中村　孝

9月度出席報告

氏　　名	例会数	ホームクラブ	メークアップ	出席率	ホームクラブ100%	氏　　名	例会数	ホームクラブ	メークアップ	出席率	ホームクラブ100%
寺尾　巌	4	2	1	免1回		鈴木　昇二	4	4	6	250	○
布川　二三夫	4	1	1	免2回		伊藤　佳子	4	4	1	125	○
久保　栄弘	4	0	0	免4回		武者　惠吾	4	0	1	免3回	
長島　亨	4	1	1	50		石渡　勝朗	4	4	1	125	○
船山　昭三	4	0	0	免4回		水口　衛	4	3	1	100	
島岡　栄基	4	2	1	免1回		須山　文夫	4	4	1	125	○
遠藤　悦弘	4	3	0	免1回		秦　　琢二	4	3	1	100	
鈴木　幹久	4	3	2	125		小林　勇次	4	3	0	75	
宮山　光男	4	3	1	100		牛山　裕子	4	4	5	225	○
野沢　隆幸	4	3	2	125		坂東　保則	4	2	1	75	
林　　鶴	4	1	3	100		須釜　賢治	4	0	0	0	
安藤　賢一	4	0	0	0		船木　幸雄	4	3	2	125	
小泉　敏和	4	0	0	免4回		飯塚　元明	4	3	3	150	
荒金　眞弘	4	0	0	免4回		沼田　直輝	4	2	0	50	
嶋崎　嘉夫	4	1	1	50		竹内　祥晴	4	3	1	100	
炭谷　博功	4	4	1	125	○	澤口　みよ子	4	0	0	免4回	
中村　眞治	4	4	3	175	○	中村　孝	4	0	1	25	
細谷　重徳	4	1	0	25		前田　良賢	4	3	0	75	
竹中　裕彦	4	4	4	200	○	宮沢　和徳	4	2	1	75	
須藤　宏	4	0	0	0		出井　宏樹	4	3	1	100	
久保　博和	4	0	0	0		内田　省治	4	3	0	75	
増田　昌美	4	3	2	125							
倉成　保巳	4	0	0	免4回							
大藪　善一	4	2	0	免2回							
竹田　正和	4	4	1	125	○						
横山　俊夫	4	4	4	200	○						
石渡　利治	4	4	0	100	○						
渡辺　冨士夫	4	3	2	125							
布野　真治	4	0	0	免4回							
清水　宏明	4	4	3	175	○						
白石　浩司	4	3	2	125							
岡　真治	4	0	0	免4回							
矢野　清久	4	3	1	100							
岩井　茂次	4	2	1	75		9月出席率	81.06%				